



# 企業が求める人材像と学生の就職観に関する

## 調査報告(2018年度概要)

### <調査概要>

2017年より大阪府内北河内地域エリアを中心に学生と企業を対象に就職及び採用に関するそれぞれの意識調査を実施した。2018年は学生対象としては調査数：824名、企業対象としては調査数：67社からの回答を得た。

### <企業が求める人材像>

回答した企業が採用時に重要視している項目としては挑戦意欲・姿勢(4.49)／協調性(4.49)／主体性(4.28)／根気・忍耐力(4.25)などであった。

専門能力の高さ(2.39)、資格取得(2.25)、趣味・特技(1.97)、実家通える距離である(1.54)と、全体的に採用時の項目としての重要度は高い

と言えないが、299名以下の企業で見ると専門能力の高さ(2.5)、資格取得(2.34)、趣味・特技(2.26)、実家通える距離である(2.05)となっており、回答企業全体から比較すると高めに出る傾向にあった。

### <学生が求める企業像>

全体的な傾向としては、昨年度同様に企業の大きさ(2.32)やブランド(2.27)、高賃金(3.31)よりは休日・残業の有無(4.01)、福利厚生や施設(3.73)、学んできたこと活かせる(3.7)などが学生の企業選択時に重要視するポイントになっている。特に本年度より質問として加えた職場の雰囲気・風土(4.33)、企業の安定性(4.04)は大きく意識している項目といえる。

### <調査まとめ>

企業回答の結果から、300名以下の企業では大阪府内で勤務が多く、採用にあたっては学歴や専攻学部などについても大きなこだわりはないという結果がでた。また、求人活動や時期についても随時門戸が開かれているといえる。学生に求める資質としては挑戦心や積極性などが望まれている。

学生回答の結果からは、企業選択の要素として大企業・高収入・勤務地に対するこだわりはなく、どちらかといえば働きやすさを志向している傾向にある。

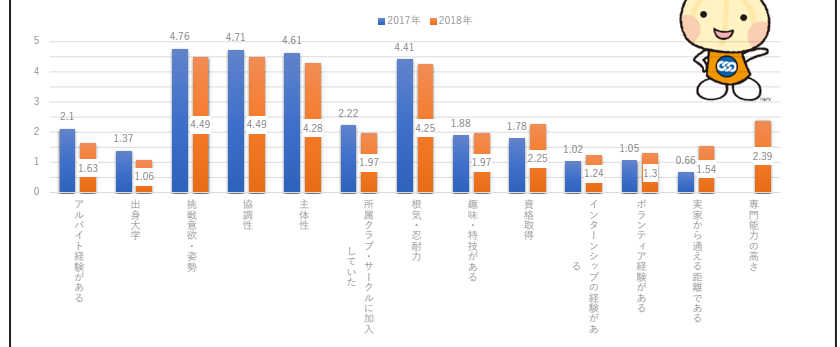
企業と学生のマッチングを図っていくうえでは至極当然ともいえるが、企業が持つ風土や特性と学生がイメージする企業の状況ができる限りを双方での理解度を高めることで、社会に出た学生が企業に定着し、以降企業の貴重な人材として活躍できる機会になるといえる。

企業研究を進める中で実際の企業風土を見聞きすることが重要であり、企業も就職面接の中で福利厚生や現場の雰囲気などをしっかりと学生側に伝えていくことが求められると考えられる。

2019年5月吉日

連合大阪 北河内地域協議会

#### 企業が求める社員像



#### 学生が求める企業像

